

■ 議会モニターから提出された意見について（平成25年）

No	受付日	意見の要旨	検討結果
1	平成25年6月26日	一般質問に対する答弁の履行状況は、議会として点検するものなのか、それとも質問した議員の責任で「あの質問はどうなっているのか」をチェックするものなのか、または、質問し放しなのか見解を示してもらいたい。	質問した議員が、責任をもって、地域の課題をしっかりと検証するため、その後の経過についてフォローしていくべきであると考えます。
2	平成25年7月3日	議場に国旗や市旗を掲揚してもらいたい。	これまでも国旗・市旗の掲揚について検討した経緯があり、引き続き検討していきます。
3	平成25年7月3日	【議案提出権の積極的な活用について】 議会で審議されている議案のほとんどが市長側が立案したものである。今後、議会の政策機能を高め、市民のニーズや要望を踏まえた議員立法を積極的に行うべきである。	これまで常任委員会において、年間活動テーマを設定し、調査研究を行い、さまざまな提言等をしてきました。その中でも、「戸田市中企業振興条例」や「戸田市みんなで守ろう自転車の安全利用条例」を委員会提出議案として提案し、制定されたことは、常任委員会の活動の大きな成果であると考えます。 今後とも鋭意努力し、地域の課題解決に必要な条例などを、積極的に提案していきます。
4	平成25年7月3日	【常任委員会の審査資料の事前配付について】 各常任委員会の開催日に資料が配付されているため、内容の吟味、現場調査、情報収集等の時間的余裕がなく、審査の内容が浅く、深まっていない感がある。せめて1週間前に各委員に資料を配付してはどうか。	できる限り早めに資料を提出するよう、執行部に求めていくとともに、審査のより一層の充実にも努めます。
5	平成25年7月3日	【戸田市政策研究所の活用について】 市の中長期的展望に立った政策実現のため、議会から市長に対し、政策研究所による調査研究を要望し、その成果を立法化もしくは市長の施政方針に導入してはどうか。 また、政策研究所の事務の執行状況を総務委員会等で審査してはどうか。	戸田市政策研究所は、執行部の機関であるため、議会が直接関与することは困難ですが、今後、戸田市政策研究所と共同して、地域の課題解決に取り組むなど、議会の政策提言機能の強化に向けて検討していきます。
6	平成25年7月10日	【傍聴椅子の改善設置の要望】 委員会室の傍聴席は、狭く窮屈な上、書類を置くスペースも狭く、メモが十分にできない。ゆったり着席し、書きものもできる席と交換してもらいたい。なお、交換に当たっては、予算や時期を考慮し、とりあえず2つの委員会室で、それぞれ2席ずつ交換してはどうか。	着席に支障がある場合は、メモ台のない椅子を用意するなど配慮いたします。
7	平成25年7月10日	【「とだ議会だより」に質問コーナーの設置】 議会活動をもっと知ってもらい、市民との距離を縮めるため、「とだ議会だより」に「議会Q&A」として質問コーナーを設け、議会の「仕組み」「地位」「権限」「運営」などについて、わかりやすく簡潔に説明してはどうか。	平成25年8月1日発行の「とだ議会だより(6月定例会号)」から、議会や議員の活動について疑問に答える「議会を知っocco～聞きたい知りたい議会のしごと～」の連載をスタートいたしました。ご指摘いただいた事項に関しても、そこで逐次取り上げたいと思います。
8	平成25年8月26日	議員との意見交換会に、議員全員が出ることが難しいのであれば、各会派から適切な人数を決めて出たり、あるいは、各委員会の委員長が出るなど、なるべく多くの議員が出るように改善するとともに、時間的にゆとりのある意見交換会にしてもらいたい。	議会モニターの定員を下回っている現状を鑑みると、10月に開催する意見交換会は、議長・副議長による対応が妥当であると考えますが、今後、議会モニターの意見も考慮に入れ、より充実した意見交換会となるよう配慮いたします。
9	平成25年8月28日	議会だよりは、全体的に良くできているが、文字数が多いので、文字の大きさや行間を工夫すれば、読者も関心はわくのではないかと。	議会広報委員会において、より充実した紙面づくりに努めてまいります。
10	平成25年8月30日	議会だよりについて、見出しのつけ方は見やすく、写真やイラストをふんだんに取り入れ、市民が読みやすいように工夫されている。また、図書館や駅などにも設置されているので、入手しやすい点も良いと思う。このような工夫は今後とも継続してもらいたい。	議会広報委員会において、より充実した紙面づくりに努めてまいります。
11	平成25年8月30日	議会や委員会これまで何を話し合ったのか、わかりやすく示されているが、これから何を話し合っていくのか、もっとわかりやすく情報提供をしたほうがよい。議会ホームページに「議会予定表」が公開されているが、形式的な見出しばかりで、具体的にどのようなテーマについて話し合われるのかわからない。傍聴を呼びかけるメッセージを、議員が議会ホームページに書き込めるようにしてはどうか。	現在の議会ホームページの構造上、議員が自由にメッセージを書き込むことはできませんが、ソーシャルメディア(ツイッター、フェイスブック等)の活用など、時間をかけて、議会情報の発信について検討していきます。
12	平成25年8月30日	委員会の傍聴は、聞くだけの一方通行になっているので、委員会終了後に、議員・職員・傍聴者が自由に話し合える機会を設けてもらえないか。	委員会の審査は、委員会の場で行うべきであり、ご提案いただいたような機会を設けることは困難だと考えます。
13	平成25年10月24日	平成26年は、3月定例会終了後と9月定例会終了後にそれぞれ意見交換会を開催してもらいたい。	意見交換会の開催時期をお約束することはできませんが、年2回実施できるよう努めます。
14	平成25年10月24日	意見交換会に出席する議員は、正副議長だけでなく、多くの議員に出席してもらいたい。	今後の意見交換会には、正副議長、議会運営委員長、議会改革特別委員長、議会広報委員長が出席いたします。また、議員の傍聴を認めることにいたします。